

2023年 ノース場ホッケ新規加入量調査速報 (1)

北海道立総合研究機構稚内水産試験場調査研究部 黒川大智 電話：0162-32-7166

トロール漁獲物は1歳主体

稚内水試では、毎年10月と11月の2回、稚内ノース場海域(図1)において、試験調査船北洋丸による計量魚群探知機調査と着底トロール調査(原則6回曳網)を実施しています。

本速報では、2023年10月4日に実施した第1回調査の結果を示します。今年の調査では、荒天のため、計量魚探調査は行わず、着底トロール調査は、各海区にて1回(計3回)の実施となりました。

トロール調査結果

- ・海区811, 812でホッケの漁獲があった(海区813はわずか)
- ・ホッケの体サイズは、例年より大きかった
- ・ローソクと判断されるホッケはわずかだった

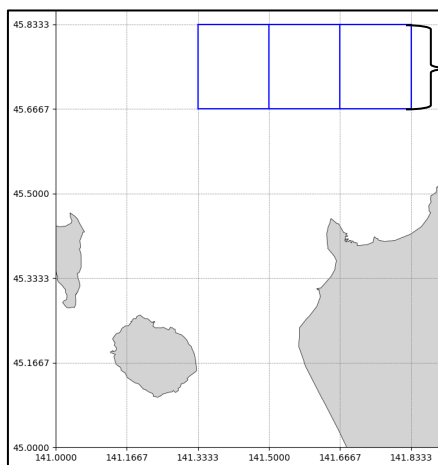


図1. 操業海域

※荒天のため、航走調査は実施せず

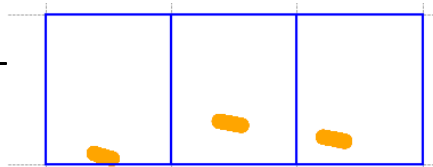
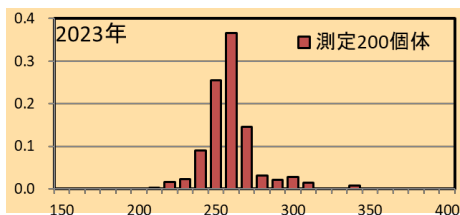
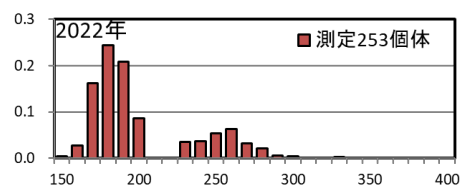
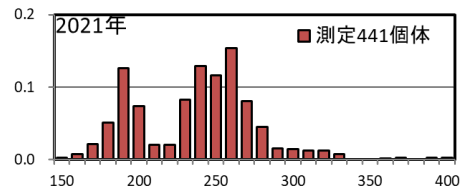
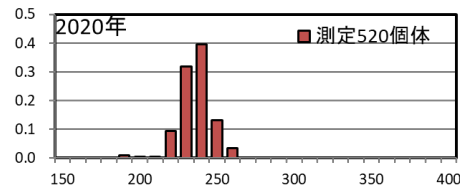
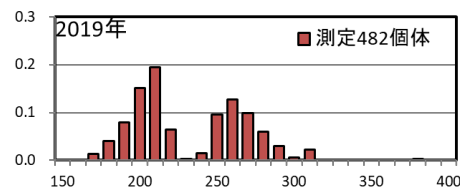


図2. トロールを実施した地点



体長 (mm)

図3. 採集されたホッケの体長組成
(縦軸は尾数割合)

調査結果

10月調査では、811~813海区で計3回のトロール調査を実施しました。漁獲されたホッケは例年よりサイズが大きく、ローソクと判断できる個体はわずかでした。

今回は、荒天のため計量魚探調査・トロール調査とも十分に実施できなかったため、2023年級群の豊度については、11月調査の結果と併せて総合的に判断する必要があります。